



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーに輝きを

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：高橋勇雄 ■幹事：吉田和義
- 会報委員長：伊藤弘子 ■副委員長：笠 雅樹
- 委員：丹治洋子 赤間浩一 菅野清敬 菊地和宏 三瓶弘樹

## 第33回例会

平成 27 年 3 月 18 日 (水) サンパレス福島

■会員/73 名 ■出席/46 名 ■出席率/63.01% ■メイクアップ 27 名 ■修正/73 名 ■修正率/100.0%

### 本日のプログラム

- 12:30 開会点鐘
- 国家斉唱
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- 四つのテスト
- 来訪者紹介と会長挨拶
- IM報告
- 各委員会報告
  - スマイリングボックス委員会
  - 出席委員会
  - ロータリー財団委員会
  - 米山奨学会
- 幹事報告
- 食事
- ゲストスピーチ
- 御礼の言葉
- 13:30 閉会点鐘

### 本日のソング 『奉仕の理想』

奉仕の理想に集いし友よ  
御国に捧げん我らの業  
望むは世界の久遠の平和  
めぐる歯車いや輝きて  
永久に栄よ  
我等のロータリー ロータリー



### ◆会長あいさつ◆ 高橋 勇雄 会長



皆さん今日は、本日のお客様紹介いたします。NPO 法人アジア教育友好協会 宍戸仙助様です。宍戸仙助様には、私達「ラオス教育支援事業」の理解者として、ご尽力を頂いており、その現況報告を兼ねてスピーチを頂く事になっております。宜しくお願ひ致します。

さて、今月は「識字率向上月間」で御座います。もとより、私達南ロータリークラブは、青少年育成に大きな力を注いでおり今年度も、①成蹊高校奨学金 ②市内保育園への玩具贈呈 ③リトルグ大声杯 ④杉妻小への図書贈呈 ⑤福島県内保育園への玩具贈呈 ⑥成蹊高校 IAC ⑦市内保育園との火災防火パレード ⑧ラオス教育支援と、青少年への取り組みを重視し、今年度は8項目の支援に取り組んでいます。今回のラオス教育支援につきましては、4年前の40周年記念事業として始めたもので、きっかけは、今回スピーチを頂く宍戸仙助様自身の活動内容を知り、当時の黒羽会長を始め、多くの会員が深く感銘を受け、始めたものです。後進国への学校建設支援は沢山ありますが、多くの学校が廃校状態の理由は、建物の維持や教師の確保、給食の支援が行き届かないと言うものつまり、ハードの支援はあってもソフト面の支援が薄いというものでした。日本にいると理解しがたい事ですが、後進国ならではの事情があります。それは、国全体が場所により文化や言葉が違い、教師が僻地の学校に行っても言葉も違い、食文化も違い、成り立たないと言う背景が有る事でした。これに対し私達が行う「ラオス教育支援」は、志をもった現地の人間に、奨学金を寄付し教師として養成し、現地に帰り教育活動を実践する、と言う支援であります。みなさんご存知ラムのママさんは、一人の子供、一人の教師、一冊の本、一つのペン、それで世界を変えられます、教育こそ唯一の解決策です。私たちはこの現状を真摯に捉え、世界平和を願ひ、奉仕の理想を実践すべきと考え、3年継続の2回目の支援を行っている事をご理解頂ければと思います。

この後、3月14日に行われましたインターティミーティングについて、大野順道ロータリー情報委員長より報告が御座いますので宜しくお願ひ致します。以上で、会長挨拶と致します、有難うございました。

### ◆ IM報告◆



#### 情報委員会

大野 順道 委員長

国際ロータリー第2530地区東北第一分区のIM(インターティミーティング)は、先週の土曜日3月14日14時より二本松あだたらロータリークラブをホストとして、二本松市の二本松御苑で開かれ、第一分区7クラブ、約120名の会員が参加致しました。当クラブは大橋パスタガバナを始め19名が参加致しました。秋山和久ホストクラブ会長の開会点鐘の後、国歌斉唱 奉仕の理想の唱和、善方邦雄実行委員長の開会挨拶、秋山ホストクラブ会長の歓迎の言葉、久米充彦ガバナ補佐の挨拶と「職業奉仕を實踐してロータリーに輝きを」を発表し、ガバナ・パスタガバナ、参加クラブの紹介がありました。野崎潔ガバナの祝辞のあと、コーディネーターの紹介があり休息を取りました。次にテーマのもとにグループ討議が活発に行われ、その討議の内容について7名のコーディネーターによる発表がありました。その意見の内容につきましては、IM報告書をご覧ください。続いて、久米ガバナ補佐の総評が次年度は、二本松ロータリークラブがホストクラブと発表され閉会点鐘となりました。

懇親会は、阿久津肇パスタガバナ挨拶と大橋廣治パスタガバナの乾杯で始まり、和やかな語りの中、竈島敏男さんが名曲 東京よせばいいのになどを熱唱されました。最後にバスの手配頂き、送り出してくださいました。最後にバスの手配頂き、送り出してくださいました。ありがとうございました。



### ◆ゲストスピーチ◆



認定NPO法人アジア教育友好協会 参与 宍戸 仙助 氏 「ラオス山岳地帯の現状と奨学金の必要性」

皆様こんにちは。アジア教育友好協会の宍戸と申します。今ご紹介を頂きましたが、自宅が八島町にあります。去年一昨年の3月まで伊達市富野小学校の校長をしておりました。実は6年位前から理事長の谷川氏に連れられラオスに行っておりました。退職後、谷川氏の誘いもありましてアジア教育友好協会にて務めさせて頂いております。福島南RCの皆様には奨学金の支援を頂いていることに感謝申し上げます。

AEFAは設立10年になり、これまで学校建築191校、奨学生12名の支援をしており、このうちロータリー

クラブさんから支援を頂いた5名も含まれております。次にラオス南部山岳地帯の人々の暮らしと現状をご覧いただきます。(ビデオ視聴) ラオスは24の少数民族が暮らしています。その民族が別々の言語を話しており、自分たちが生まれ育った場所の言葉で文字がありません。ですから、子供達が大きくなって仕事をするには、標準ラオス語を学ばなくてはなりません。

私が6年前にナール小学校の1年生に、将来何になりたいかとインタビューした際、その子は大人になりたいと答えました。「大人になるまで生きていたい」、それが夢である子供達が、ラオスというところに住んでいるということ現実を実感した瞬間でした。

福島南RCの皆様は今まで支援して頂いた奨学生が、立派に教師になって先生をしています。その2人が、ダム・モンテラ君とクム・リョイヤット君です。ダム君は短大時、ホームシックで泣いていたとは思えないほど成長し、出身地のジョーハイ分校で子供達をしっかり指導しています。クム君もトラウトレン村の学校が無いところですが、村の集会所でたった1枚の黒板と、不十分な教科書でも、子供達に熱心に指導しています。

さて今回ご支援頂くのは、ケダラ・カムラガイヤットさんとム・サイヤカンさんです。2人も先生になるという夢を叶える為、一生懸命勉強しております。

ラオスという環境の中で子供達は、目を輝かせて勉強しています。そんな子供達の現状を伝えると、日本の子供達にもそのような話を届けてあげたいなと思っております。最後に福島南RCさんからの支援に重ねて感謝を申し上げて、スピーチを終了させていただきます。

### ◆会員増強表彰◆



#### 会員増強委員会

佐藤 朋也 委員長

新入会員を紹介しました高橋勇雄会長に、RI会長から記念品が贈られました。

### 今月・来月のプログラム

- 3月25日(水) 創立記念例会(夜間)
- 4月1日(水) 誕生祝い、ロータリーの友読みどころ、ゲストスピーチ、戦略計画委員会報告
- 4月8日(水) ゲストスピーチ
- 4月15日(水) 家族観桜会(東京麹町RC合同夜間例会)
- 4月22日(水) 東京麹町RCとの共同事業報告 職業奉仕セミナー報告、ゲストスピーチ
- 4月29日(水) 法定休日

#### ※ 地区情報

- 3/21~22 第27回全国ロータリー外研修会
- 4/11 第2回職業奉仕セミナー(郡山卸町会館)
- 4/15 ソフトブック贈呈式(東京麹町RCとの共同事業)
- 4/17 東北第一分区会長幹事会(エルティ)
- 4/19 東北第一分区ゴルフ大会(民報コース)
- 4/25 地区会長幹事会・地区指導者育成セミナー
- 4/26 地区大会